

「第3回競馬功績者表彰」表彰者一覧

1 調教師

はしだ みつる

橋田 満 (70) (JRA元調教師)

JRA調教師として、中央競馬で歴代51位の744勝。日本調教師会会長(平成24年～26年、28年～令和4年)を歴任。氏が代表を務めた「一般社団法人H. u. G. p l a t 遠野」において、東日本大震災の被災者の馬を通じた心のケアに貢献。



2 騎手

ささき たけみ

佐々木 竹見 (81) (神奈川県騎手会元騎手)

川崎競馬の騎手として、年間勝利世界記録、連続14年全国リーディングジョッキー、通算7,151勝(的場文男騎手が更新するまで、当時の日本最多記録)を達成。引退後には地方競馬全国協会の参与として地方競馬教養センターで後進の指導に努め、多くの騎手育成に貢献。



3 生産者等

なかじま しげる

中島 滋 (88) (獣医師)

獣医師として、日高地域の軽種馬診療や直腸検査による繁殖牝馬の交配適期診断の普及に貢献。北海道獣医師会日高支部理事・支部長を19年間にわたり歴任。静内農業高校では評議員として馬産業を支える人材の育成に貢献。町議会議員として約19年にわたり地元の振興発展に尽力し、町議会議長などを歴任。2017年に旭日双光章(地方自治功労)受章。



4 主催者等

なかだ かずお

仲田 和雄 (82) (地方競馬全国協会元理事長)

「トゥインクルレース」の立ち上げ等様々な改革や取組を行い、競馬の健全娯楽として定着に貢献。地方競馬全国協会の初代理事長(平成20年～24年)を歴任。地方競馬と中央競馬の相互発売の実現等地方競馬の活性化や売上の回復につながる様々な施策の立ち上げに貢献。

